opusdei.org

## 属人区長のメッセージ(2021年9月20 日)

オプス・デイ属人区長・オカリス神父は、十字架を通して神との一致を生き生きとさせるよう招きます。

2021/09/20

愛する皆さんへ。イエス様が私の子 どもたちを守ってくださいますよう に「 数日前、十字架称賛の祝日にあたって、1969年9月14日、キリストの十字架による祝福を終えたときられるで、これであるではい出した。そべき理にはかけました。その中ではない。その世にはいいました。その道連れであるとして、(十字ととのがました。私たちは、各々なはいまり、十字架に出会うことであるという。

それゆえ、イエスの十字架との一致がもたらす効果に対する信仰を、常に新しい方法で生きとさせることです。聖パウができまれていることですることであったがでしょう。「キリストの体とは教会のことです」(コロサイ1.24)。

実際には、キリストの犠牲の絶大な 効果には何も欠けることはないと私 たちは知っています。しかし、私た ちが完全な理解に至らない神の効力 理によって、神ご自身が、そらいずの 適用において、私たちをこれが であるとされたからなのである 与るものとされたからなのです。

「子どもであれば、相続人であります。神の相続人、しかもキリストと共同の相続人です。すなわち、私たちはキリストともに苦しむなら、ともに栄光を受けるのです」(ローマ8,17)。

しばしば、外的なしるしによって私たちは助けられます。その意味で、教皇フランシスコがある機会にお話しになったように、職場や家庭などで身近に目にする十字架の像は、主に自己を一致させるための招待状なのです。

十字架のかたわらの聖母に寄り添うならば、私たちの心は、「平和と喜びと聖性への望みに満たされ、十字架に釘づけられたキリストという書を読み」(聖ホセマリア、1970年9月15日の説教)深めることが容易になるでしょう。

愛情を込めて皆さんを祝福します。

あなた方のパドレ

フェルナンド

ローマ、2021年9月20日

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkucho-messege-2021-9/(2025/11/19)